

## 国立大学法人島根大学役員会（第426回）＜議事要録＞

日 時 令和7年9月16日（火） 14:00 ～ 15:50

場 所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）

出席者 大谷学長、増永理事、松崎理事、金山理事、椎名理事、大川理事、宮脇理事、上野理事  
オブザーバー 吉田監事、栗原監事

〔陪席：企画部長、研究・地方創生部長、教育・学生支援部長、総務部長、  
財務部長、松江地区学部等事務部長、医学部事務部長、監査室長事務取扱〕

### 議決事項1 職員の育児休業等に関する規程の一部改正について

- 増永理事から資料に基づき、職員の育児休業等に関する規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

### 議決事項2 寄附講座「総合医療学講座」の更新について

- 増永理事から資料に基づき、寄附講座「総合医療学講座」の更新について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

### 議決事項3 情報セキュリティ対策基本規程（D1001）、情報セキュリティ対策基準（D2101）の改正について

- 松崎理事から資料に基づき、情報セキュリティ対策基本規程（D1001）、情報セキュリティ対策基準（D2101）の改正について説明があった。
- 吉田監事から、内容が大幅に改正されることから、学内への周知や勉強会など改正後の規程への理解を深める対応が必要であるとの意見があった。
- 審議の結果、原案どおり議決された。

### 議決事項4 医学部附属病院臨床研究審査委員会規則の一部改正について

- 椎名理事から資料に基づき、医学部附属病院臨床研究審査委員会規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

### 協議事項1 定期モニタリングの実施について（研究不正防止体制）

- 松本副学長から資料に基づき、定期モニタリングの実施について（研究不正防止体制）説明があった。
- 吉田監事から、研究不正防止に向けては、決められた講習だけでなく、不正は必ず発覚するという意識を持たせる内容にし、毎年内容を見直して倫理意識を高める工夫が求められるとの意見があった。松本副学長から、講習については、毎年内容を見直した上でeラーニングにより実施しており、不正を行った場合には本人だけでなく、大学全体へも影響を及ぼすことへの意識の徹底を図りたいとの発言があった。
- 椎名理事から、不正によって大学全体へ影響を及ぼすことへの意識が、かえって不正の隠蔽に繋がることの無いよう、整合性を持たせた講習内容を検討いただきたいとの意見があった。

### 協議事項2 島根大学における生成AIの利用ガイドラインの制定について

- 松崎理事から資料に基づき、島根大学における生成AIの利用ガイドラインの制定について説明があった。
- 宮脇理事から、生成AIは急速に進化し様々な分野で活用が進んでいるが、教育現場では使い

方によっては学生の思考力低下を招くとの懸念がある点を踏まえて、学内での利用規制に係る本学の考えについて質問があった。松崎理事から、学内では生成 AI の安全な使い方を前提に積極的な利用を推奨すべきという意見がある一方、利用に慎重な意見もあり統一が難しいことから、現状は担当教員の判断に委ねているとの回答があった。

- 栗原監事から、学生向けのガイドラインに法令遵守の規定がないことについて、法令遵守は教職員だけでなく学生にも共通して重要であるため、明確に規定すべきではないかとの意見があり、松崎理事から、法令遵守の扱いについて学生向けに一部導入を検討するとの発言があった。続けて栗原監事から、生成 AI を使った不正行為に対する罰則規定をガイドラインに明示すべきではないかとの意見があり、松崎理事から、罰則の運用や生成 AI の利用については教員間で意見が一致していないことから、早急に方針を整備する必要があるとの発言があった。
- 椎名理事から、法令遵守等については、学生への教育が将来的な社会の健全性につながることから、まずは学生への教育を徹底し、続けて教職員に対する意識啓発を実施すべきであるとの意見があった。

#### 報告事項 1 内部統制システムに係るモニタリング結果の業務反映状況について

- 金山理事から資料に基づき、内部統制システムに係るモニタリング結果の業務反映状況について報告があった。

#### 報告事項 2 令和 6 事業年度財務諸表の承認について

- 大川理事から資料に基づき、令和 6 事業年度財務諸表の承認について報告があった。

#### 報告事項 3 令和 6 年度外部資金等に係る間接経費等の執行実績について

- 大川理事から資料に基づき、令和 6 年度外部資金等に係る間接経費等の執行実績について報告があった。

#### 報告事項 4 令和 8 年度概算要求について

- 大川理事から資料に基づき、令和 8 年度概算要求について報告があった。
- 栗原監事から、今回の概算要求についてどのように評価しているのか質問があり、大川理事から、特に将来的な基幹経費となる組織整備分が不採択となった点は厳しい評価であったが、物価・人件費の上昇を踏まえた教育研究基盤の維持経費の増額が概算要求に反映された点は前向きに評価すべきであり、今後は、予算の確保に向けた支援を行う必要があるとの回答があった。

#### 報告事項 5 公的研究費等の不正使用の防止に向けた啓発活動（令和 7 年度第 2 四半期）について

- 大川理事から資料に基づき、公的研究費等の不正使用の防止に向けた啓発活動（令和 7 年度第 2 四半期）について報告があった。
- 椎名理事から、本学での不正使用の発生要因の一つとして、意見を言いづらい組織風土があり、心理的安全性を欠いていたことが背景にあるのではないかとの発言があった。

#### 報告事項 6 「島根大学環境報告書 2025」について

- 大川理事から資料に基づき、「島根大学環境報告書 2025」について報告があった。

#### 報告事項 7 令和 7 年度会計検査院会計実地検査について

- 大川理事から資料に基づき、令和 7 年度会計検査院会計実地検査について報告があった。

**報告事項8 研究費の不正使用防止の取組状況についての監査結果報告**

- 吉田監事から資料に基づき、研究費の不正使用防止の取組状況についての監査結果報告があった。

**報告事項9 全学委員会の議事報告について**

- 資料に基づき、書面による報告があった。